

個人山行 三十三間山

2023年4月22日(土)

<参加メンバー> 7人(男性2人 女性5人)

<天候> 晴れ

<コースタイム>

6:35 JR川西池田ロータリー集合
7:45 坊村で鈴木さんと合流
9:15 倉見登山口着
9:22 出発
11:33 三十三間山着 昼食
13:05 轆轤山
15:30 倉見登山口着
18:45 川西池田解散

<山行の概要>

笈ヶ岳山行が雪不足の為中止となり、代案日帰りで福井県と滋賀県の境にある三十三間山へ行くことになった。京都三十三間堂の創建時に棟木を山中から切り出して牛車で運んだという伝説がある。他にも諸説あるようだ。尾根に出るまでは急坂もあるが、比較的歩きやすい。段丘状の稜線は平原となっており突風であったが眺望は素晴らしく、多種の山野草や新緑を満喫出来た。黄砂の影響で若狭湾や三方五湖は霞んで見えた。針葉樹と低木の境目がはっきりしていたり植生がまだらになっていたり景色に飽きることなく楽しい山行となった。



1、登山口



2、山名の由来



3、沢沿いを気持ち良く歩く



4、赤松、杉林の分岐



5、休憩の看板で休憩



6、夫婦松の相方は朽ちて倒れていました



7、強風の被害を沈める神様。本当に強風だった。



8、まずは左へ行き、ピストンで右へ行きます



9、気持ちいい稜線



10、風速計。風力発電の風車を設置する計画が上がっていたそうです。



11、山頂、風が強い



12、遠く武奈ヶ岳



13、強風でぐるぐる回る綿菓子雲のよう



14、風に煽られる轆轤山。演技派やね。



15、草原では寝転ぶよね。その1



16、草上で寝転ぶよね。その2



17、下山



18、ブナ林が美しい



19、新緑が綺麗です。



20、落ちない巨岩、この裏手に消石灰焼成窯跡がありました。



21、番衆大神、二礼二拍手一礼の後、願い事を念じながら時計回りに一周すると叶うとか。



22、番衆大神の由来



水仙



カタクリ



オオカメノキ?



ヒカゲゴケ



馬酔木



大輪のイチリンソウ



シロダモ



ヒトリシズカ



イカリソウ



ミツマタ



トリカブト